

令和6年度の点検状況のとりまとめ

令和6年度における東京都内の各管理者の橋梁・トンネル・道路附属物等の点検実施数は以下のとおり。

<令和6年度管理者別点検状況>

R6点検実施数			
施設名 管理者名	橋梁	トンネル	道路附属物等
国土交通省	65	2	65
高速道路会社	39	11	184
東京都	624	0	26
区市町村	787	4	57
合計	1,515	17	332

道路附属物等：シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識

令和6年度の点検結果のとりまとめ

東京都内のR6点検結果において、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）の橋梁は区市町村2橋、トンネルは0本、道路附属物等は0施設。また判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は橋梁102橋（6.7%）、トンネル5本（29.4%）、道路附属物等32施設（9.6%）。

<令和6年度管理者別点検結果（橋梁）>

管理者	点検実施数	判定区分内訳			
		I	II	III	IV
国土交通省	65	9	34	22	0
高速道路会社	39	6	28	5	0
東京都	624	278	306	40	0
区市町村	787	275	475	35	2
合計	1515	568	843	102	2

<令和6年度管理者別点検結果（トンネル）>

管理者	点検実施数	判定区分内訳			
		I	II	III	IV
国土交通省	2	0	2	0	0
高速道路会社	11	2	4	5	0
東京都	0	0	0	0	0
区市町村	4	0	4	0	0
合計	17	2	10	5	0

<令和6年度管理者別点検結果（道路附属物等）>

○道路附属物等とは、大型カルバート、シェッド、横断歩道橋、門型標識

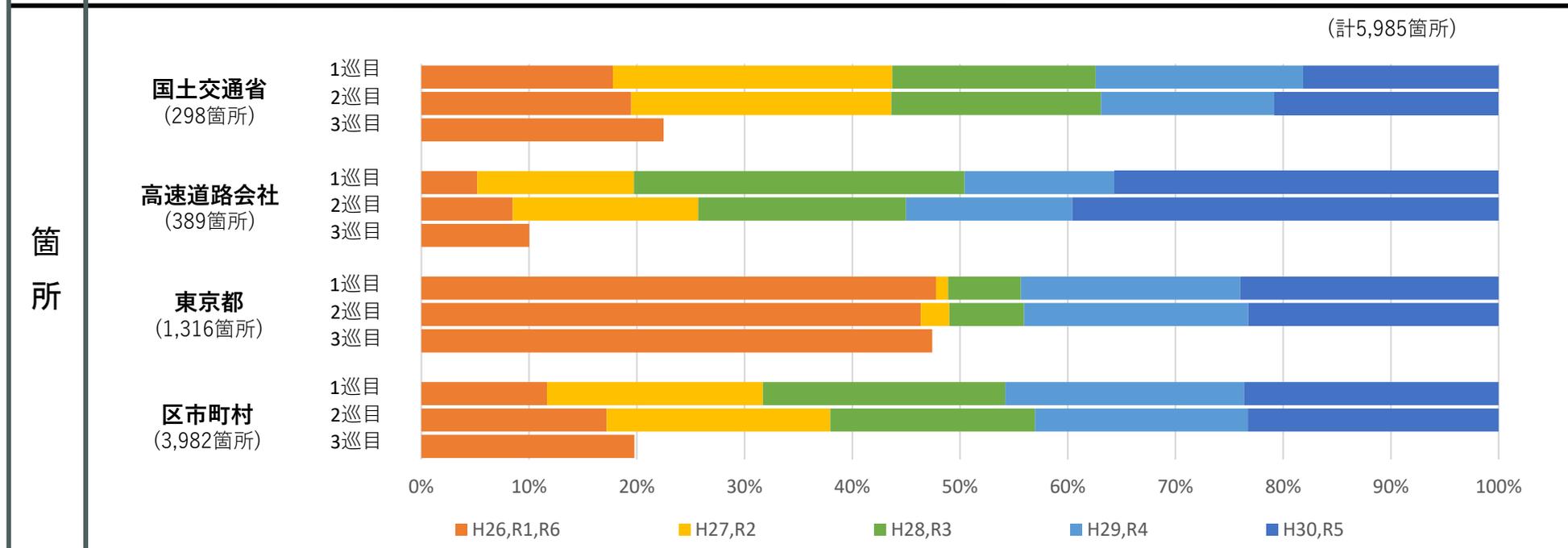
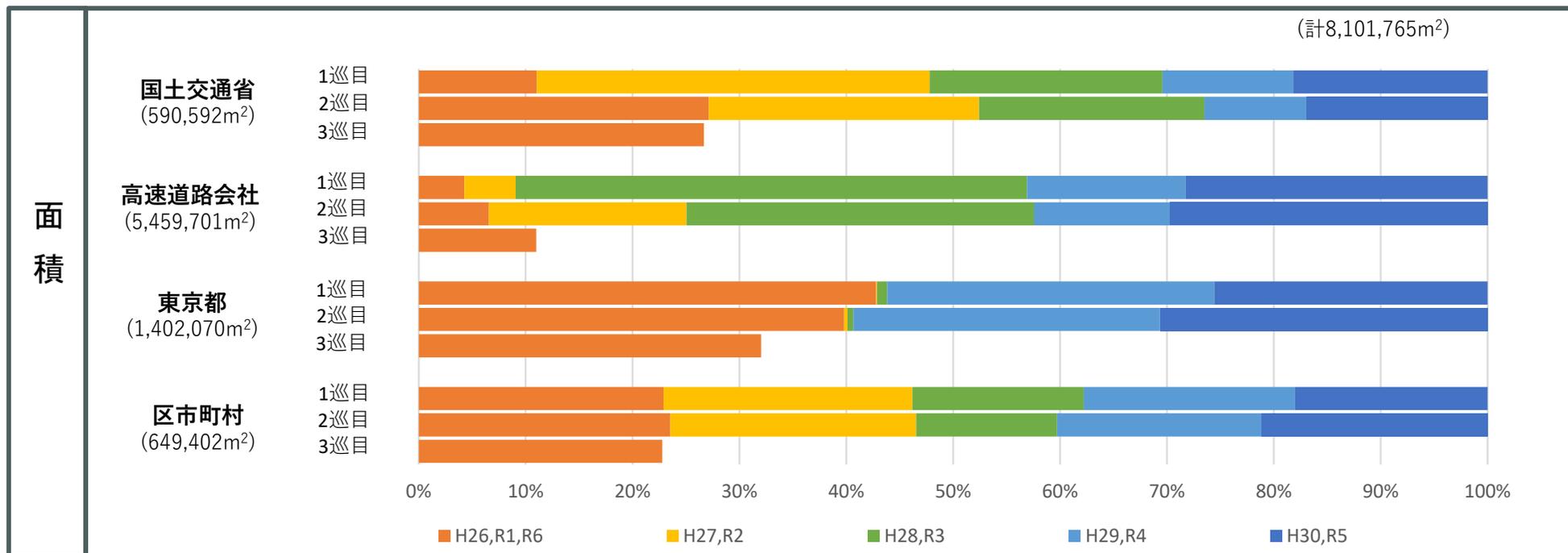
管理者	点検実施数	判定区分内訳			
		I	II	III	IV
国土交通省	65	22	20	23	0
高速道路会社	184	154	29	1	0
東京都	26	10	11	5	0
区市町村	57	15	39	3	0
合計	332	201	99	32	0

<判定区分表>

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

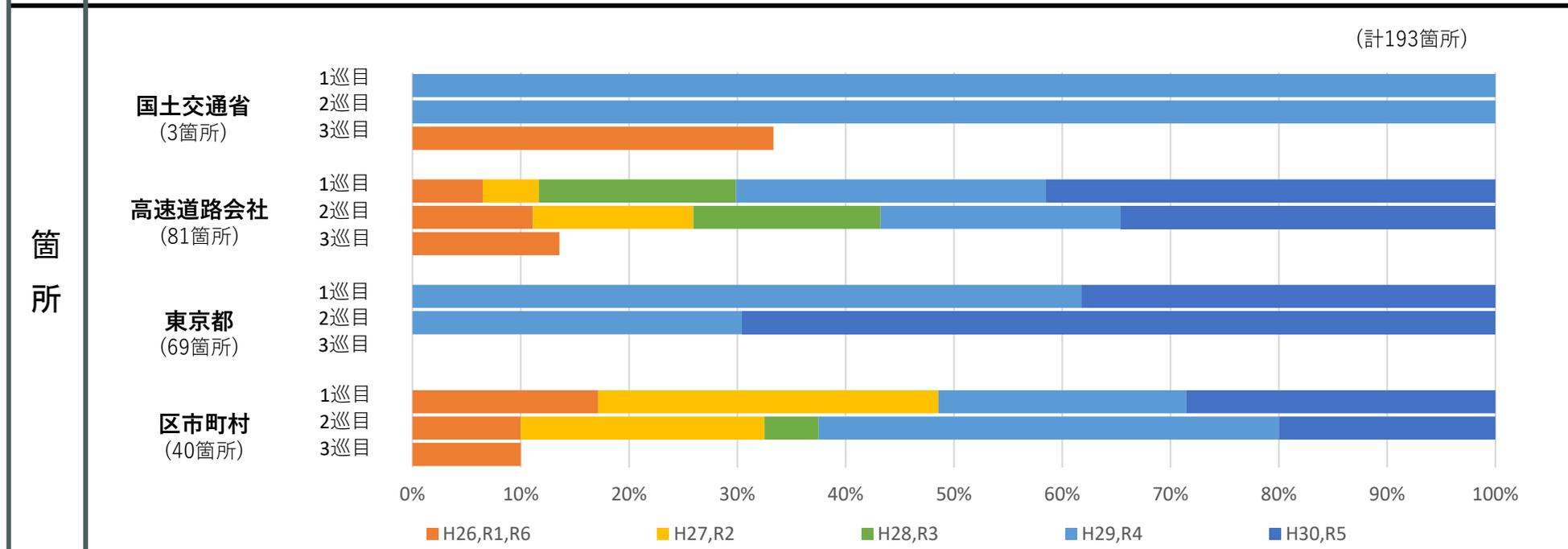
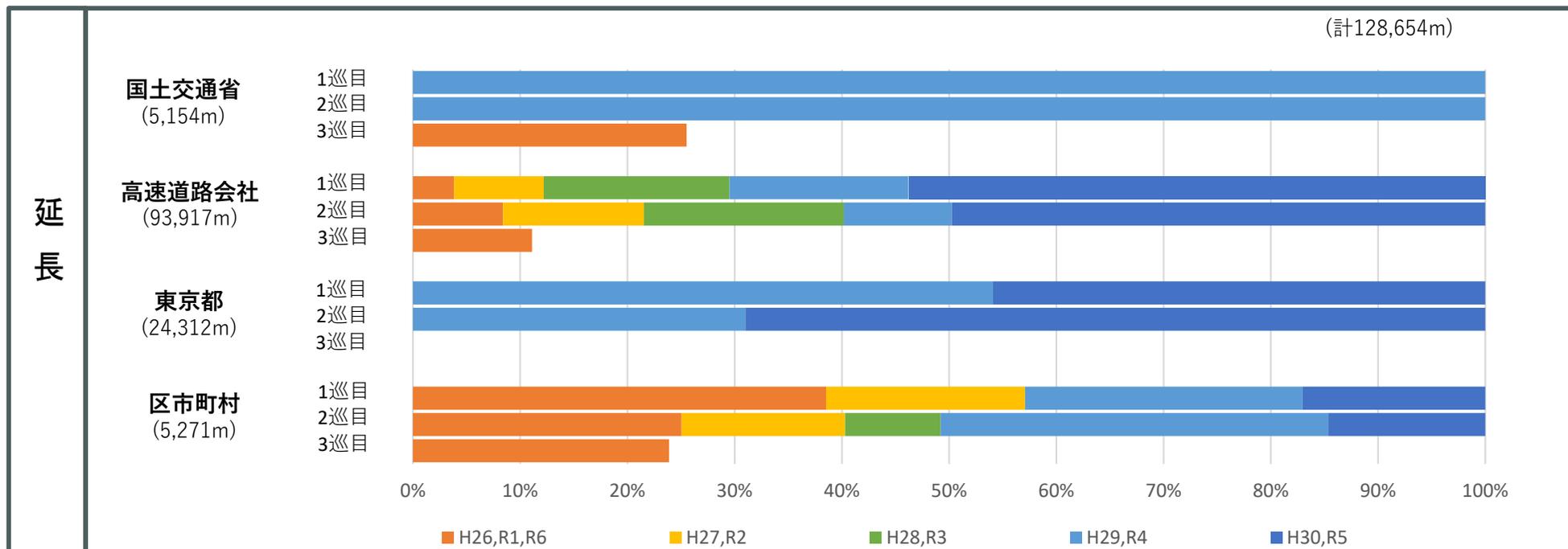
1 点検の実施状況(1巡目から3巡目の比較)

<橋 梁>



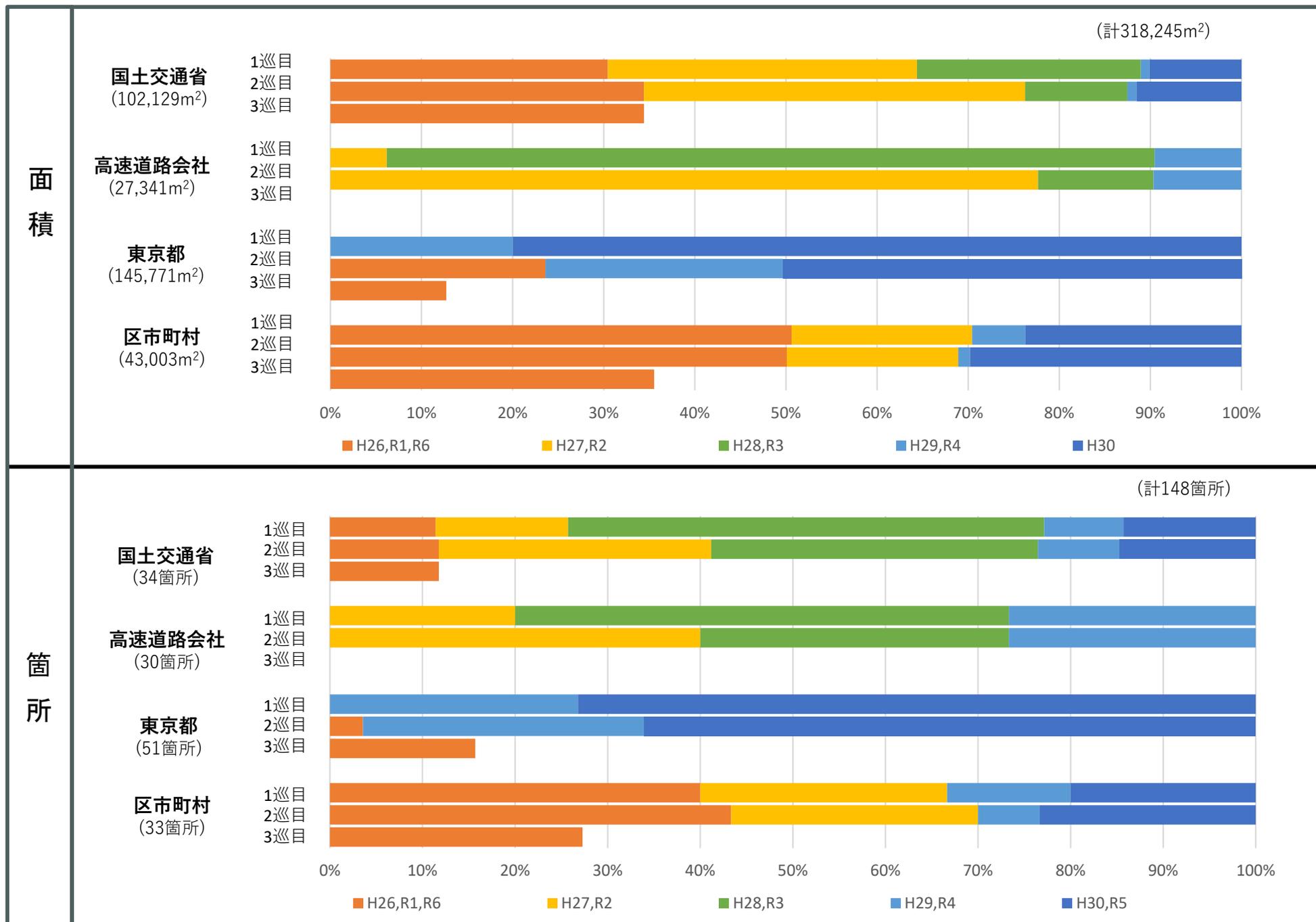
1 点検の実施状況(1巡目から3巡目の比較)

<トンネル>



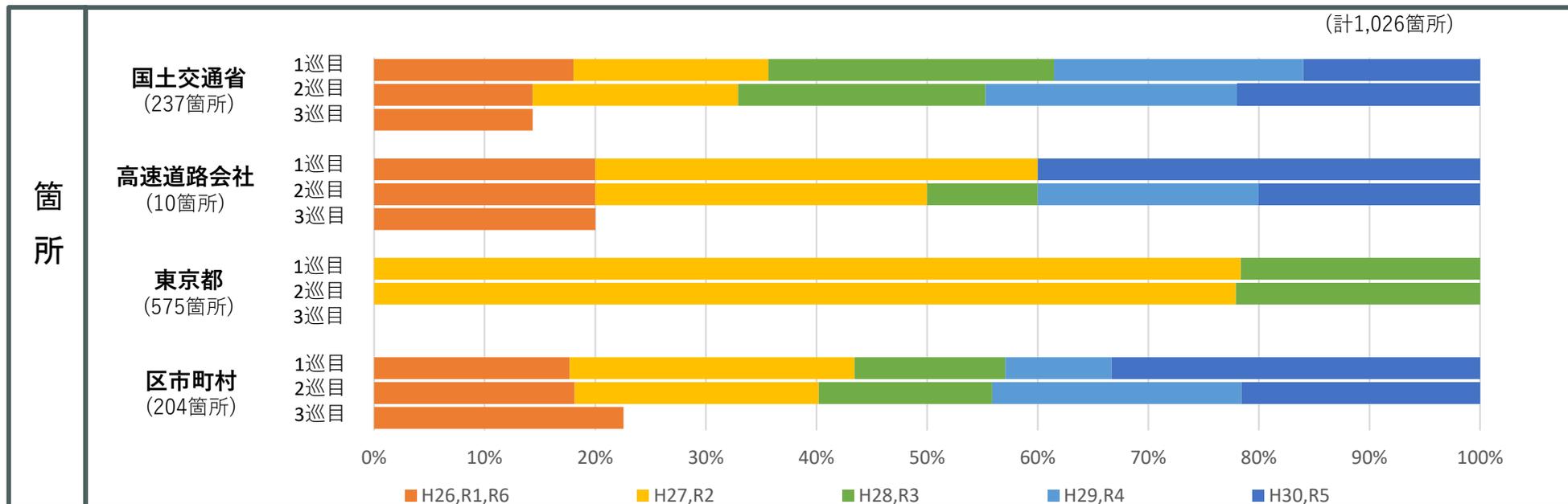
1 点検の実施状況(1巡目から3巡目の比較)

<大型カルバート>

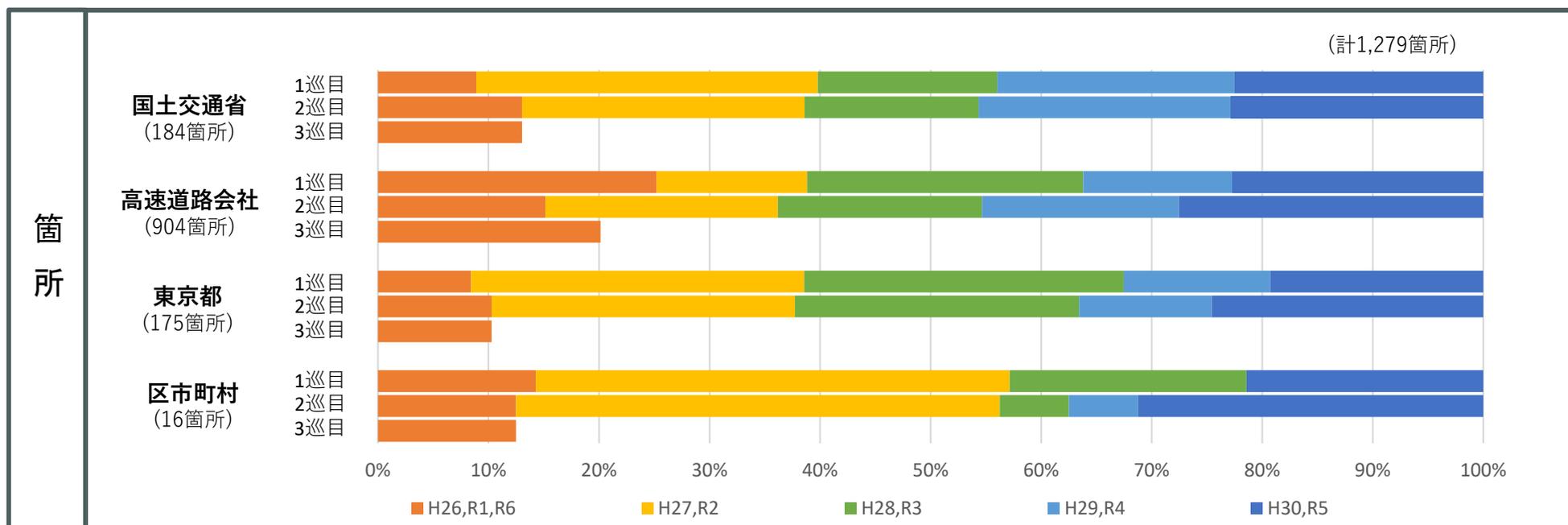


1 点検の実施状況(1巡目から3巡目の比較)

<横断歩道橋>



<門型標識>



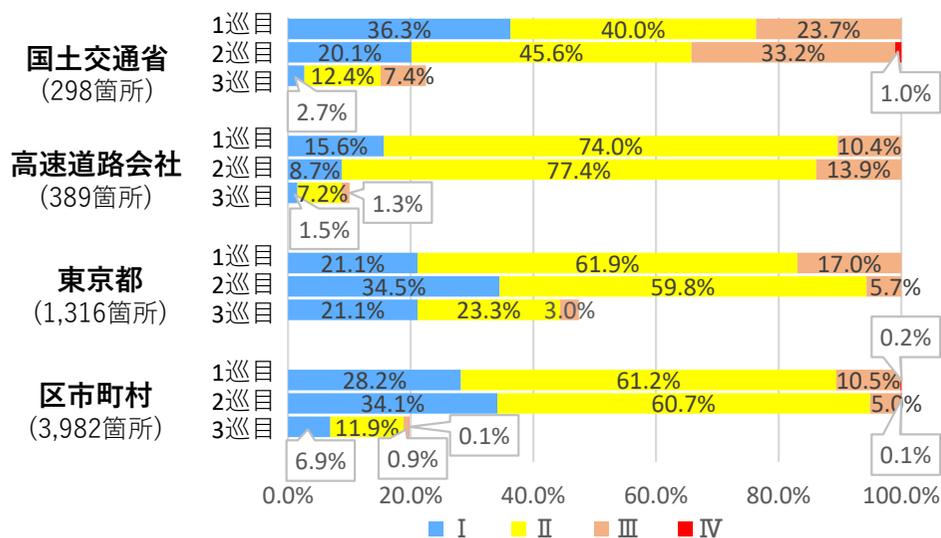
2 健全度の推移

橋梁においては、東京都、区市町村ではⅢ判定が減少傾向にあるが、国土交通省、高速道路会社ではⅢ判定が増加傾向にあり、劣化の進行が措置等の対策を上回っていると推察される。

トンネルについては、高速道路会社、区市町村ではⅢ判定が減少傾向にあるが、東京都ではⅢ判定が増加傾向にある。

<橋 梁>

(計5,985箇所)



<トンネル>

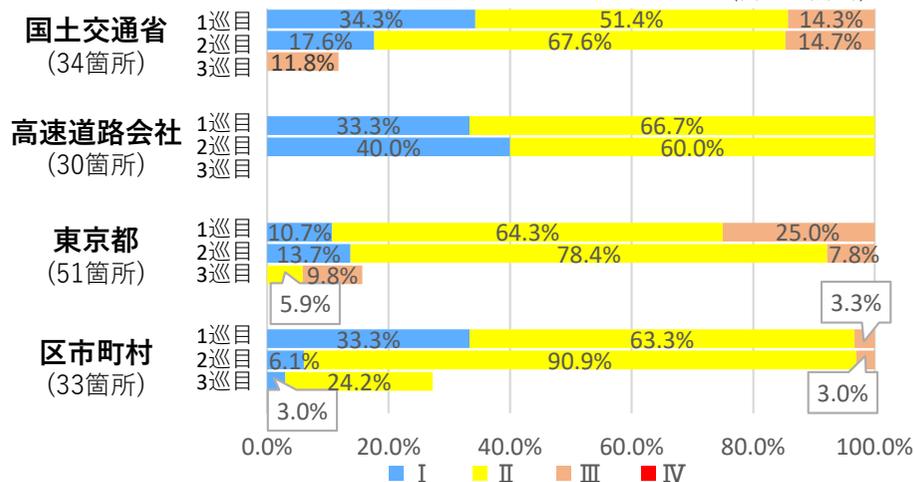
(計193箇所)



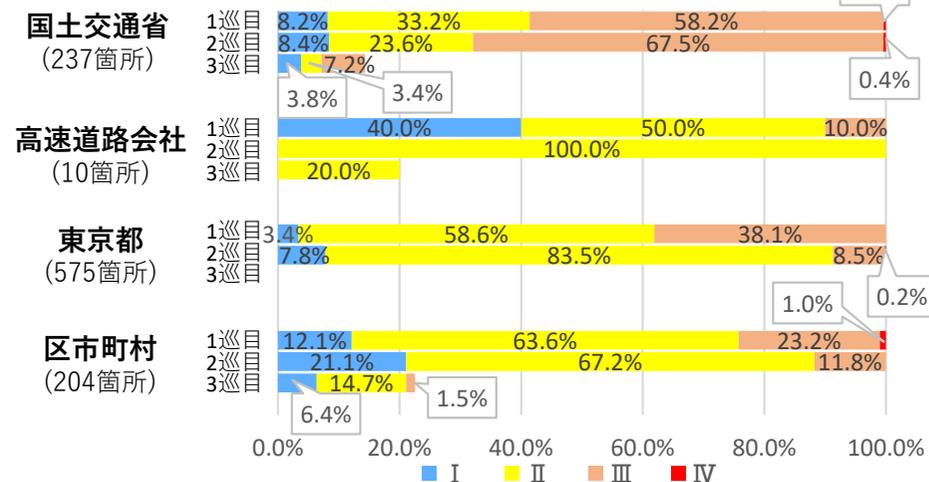
2 健全度の推移

大型カルバートは、東京都ではⅢ判定が減少傾向にある。
 横断歩道橋は、国土交通省でⅢ判定の割合が増加しているが、他の管理者は減少傾向にある。
 門型標識は、国土交通省、高速道路会社、東京都でⅢ判定が増加傾向にある。

＜大型カルバート＞ (計148箇所)



＜横断歩道橋＞ (計1,026箇所)



＜門型標識＞ (計1,279箇所)

